

TEL 233 340 000  
FAX 224 313 684  
Email Jschoool @volny. cz

# VLTAVA

## 学校教育目標

「自ら学び自ら考え、幅広い視野をもち、心豊かにたくましく生きる 児童生徒の育成」

## 目指す子ども像

「前向きで明るくかしこい子・思いやりのあるやさしい子・ねばり強くたくましい子」

## 運動会 精一杯 がんばりました

心配された雨も降らず、5月23日(土)にズリチングラウンドにて運動会を行うことができました。当日は、児童生徒会の運動会スローガン『見せろ団結！信じろ仲間！つかめ優勝旗！～プラハ日本人学校オリンピック2015～』の下、子どもたち全員が練習の成果を発揮し競技や表現演技に一生懸命取り組みました。

運動会は、当日の競技の勝ち負けに注目が集まりがちになりますが、事前の練習や話し合いを通して、協力や団結することの大切さも学ぶ行事です。子どもたちの感想からも、今年の運動会が成功したことがわかります。子どもたちが書いた感想文(抜粋)を紹介します。

### はじめての運動会 (小学部1年)

かけっこが1位で、とても嬉しかったです。2位ぐらいだと思っていました。けど、1位になって、とても嬉しかったです。夜ご飯のときパパとママがほめてくれました。



### 運動会がんばりました (小学部2年)

5月23日運動会で最初並んでいる時、ことしは勝ちたいと思っていましたが、校長先生のお話で、「勝ち負けはあんまり関係ない。」って言ってたけど勝ちたかったから力一杯頑張りました。

最初僕が出たのは、「あいうえ音楽」です。あ



いうえ音楽でいつもより頑張りました。

「コロコロいそいで、いそいで」で白組を追い抜かしたのでよかったです。

次の徒競走で一等賞になれたので、嬉しかったです。練習頑張ったからこんなにできて、すごく練習で頑張ったからこんなに成功しました。頑張ったけど、白組に負けて悔しかったです。



### 衣装袋をちゃんと持ってこれた！

(小学部3年)

私は前を見た。前のチームが棒を持って、ビュンビュン走ってくる。真ん中の人、衣装袋を届けに行った。私は、前からくる棒をジャンプした。「次が私たちの番だ。」と思うと、ドキドキする。

練習の時、コーンを回って、衣装袋を持ってくるのは、私だ。そのとき、持ってくる衣装袋を間違えて、違う衣装袋を持ってきてしまって、とても時間がかかってしまった。また、そういうことが起こるかもしれないと思うと、足がすくんだ。そんなことを考えていると、みんなの応援が聞こえてきて、はっとした。前のチームが私たちに棒を渡すのを見て、慌てて棒をつかんだ。私たちは、コーンを全速力で回った。風が顔にビュンビュン吹き付けてくる。もうすぐ、衣装袋を取る時だ。私は、またドキドキしてきた。練習の時のように、衣装袋を間違えて負けてしまうかもしれない。その時、みんなの応援が耳に入った。すると、なんだかがんばるぞと、元気が湧いてきた。そして、とうとう3個目のコーンを回ったとき、衣装袋が並んでいるのが見えた。私取るのは、5番の衣装袋だ。私は棒を持ちながら、片手で、5番の衣装袋を手にとった。

それから、みんなが並んでいる場所へ。また、全速力で走った。私は今起こったことが信じられないと思ったぐらいだった。衣装袋を届けみんなの後ろに座ると、私は、嬉しくて飛び上がりそうになった。それは、なぜなら衣装袋をまちがえずに持ってこられたからだ。それに私は、知らぬ間

に白組を抜かしていた。最後、アンカーが走り出した時、白組のアンカーもちょうど走り出した時だった。そして、棒を置いて座った時も、同時に私は同点かと思った。けれど、染谷先生が「赤組の勝ち」と言ったので、私はびっくりした。「一瞬の差があったんだ…。」私はそう思っていた。

運動会が終わった後、お母さんが「ばばっと取れてかっこよかったよー。」と誉めてくれた。私は、「プラハタイフーン勝てたんだな。」と嬉しくてたまらなかった。だって衣装袋をちゃんと持ってこれたのだから。練習の時も、素早く取ればよかったなあと思う。でも、プラハタイフーンに勝てて、とっても嬉しかったです。

### がんばった運動会 (小学部4年)

ぼくが1番印象に残ったのは大玉ころがしです。理由は小学1年生から中学3年生までやるし、後半は接戦になったからです。

あと島唄です。これも3年生から6年生までやるし踊りが早いところがあるからです。僕は2つともよくできたと思いました。僕は赤組でした。今年は赤組が負けてしまいました。負けてしまったけど頑張れたので楽しかったです。運動会は1年に1回しかないので、ドキドキしました。でもやっているうちにどんどん盛り上がり来て楽しかったです。運動会はやっても見てもおもしろいのでいいなと思いました。今年は負けてしまったので、来年は、勝てるように頑張ります。



### 心を一つに (小学部5年)

「赤組189点、白組220点、今年の優勝は、

白組です。」この時僕は、本気で喜んでいて。実を言うと僕は勝てないと思っていた。大玉はダメダメだったので無理だと思っていた。しかし、どうだろう。白組が30点差をつけて勝っているではないか。その時勝てた理由が頭に思い浮かんだ。白組が全員心を一つにしたことだ。心を一つにしたことであきらめずに最後まで頑張ることが出来たのだと思う。

徒競走では心を一つにして応援したから走る人も緊張がほぐれて堂々と走ることが出来たと思う。島唄も3年生から6年生が心を一つにし、動きをそろえて踊ることが出来たのだと思う。だから心を一つにすることが大事なのだと思う。心を一つにしなかったから、バラバラでやる気もなくなってしまふ。そうならないように心を一つにするのだ。

運動会では、人数が多い日本の学校ではなかなかできない貴重な経験をした。これからもずっと団体で何かするときには、いつでも心を一つにした。

## 最後の運動会（小学部6年）

「でいごの花が…」

これは、3年生から6年生がする表現「島唄」だ。横の人に波の合図を出した、合図とともに波



が始まった。

島唄は、沖縄の伝統民謡だ。歌の始めに、「でいごの花がさき 風を呼び嵐が来た」とある。これは、太平洋戦争中、でいごの花が咲いた頃に、「風」つまりアメリカ軍が沖縄に来て、「嵐」は戦争がやってきたという意味だ。6年生になって

から平和学習がたくさんあるため、この表現も戦争にあった地の歌という意味での平和学習だと思って熱心に取り組んだ。

島唄は、一つの平和学習だったと思います。今年の運動会で感じた平和への気持ちを胸に、リジツェ村平和式典や、修学旅行のドレスデンに行きたいと思います。

## 負けるは勝つ（中学部1年）

これまでの2回連続の負けを終わらせるために、今年は運動会歴の中でも1番頑張りました。しかし、これまで1位を取ってきた徒競走やリレーでは1位にはなれなかった。しかし、この負けが僕にとってはとても重要でした。また、新たに自分の走りなど、新しい課題ができ、取り組むことが出来るからです。

今年は、個人競技は負けてしまいました。しかし、「団結」という面では勝てたと思います。優勝できてよかったです。

## チームのために（中学部2年）

私がこの運動会で1番心に残っているのは応援合戦だ。初めは応援団員も中学生も「ダンスの振り付け、覚えられるかな。」など自分自身のことを考えていた。でも、休み時間や放課後に、練習や話し合いをしていくにつれて、考え方が変わっていった。「小学部、覚えられるかな。」「低学年わかるかな。」など、自分以外の人のことを考えるようになっていた。小学生も、できるようになるため、一生懸命に練習に取り組んでくれた。白組全体のために、一人一人が考えて、一生懸命に取り組んでいると気がついたとき、私は白組が団結することができたな、と強く感じた。



### 運動会～団長として～（中学部3年）

今年の運動会はいつもと違い、団長として運動会にかかわった。団長は応援合戦の流れや全校競技での統率など、本番にも練習にも関わる重要な役割だった。自分は、大きな声を出して周りをまとめるような人間ではない為、最初はいかに周りをまとめるか悩んだ。しかし、それはやっていくうちに不思議となれるもので、内容を具体的に決めた後は、周りの意見や自分の改善点を取り入れれば、できるようになってきた。やはり周囲の人々の存在は重要なものだった。そんなこんなで迎えた本番は、選手宣誓も無事に決まり、応援合戦も流れ通りに終えることができた。そして、競技では、自分の組を応援する時の一体感に感動を覚えた。皆で一つのもを応援するのは運動会ならではの経験だった。結果は負けたが、最後の運動会は心に残るものとなった。

### 運動会を終えて（中学部3年）

私は人前に立つことが嫌いだから最初は不安だった。でも応援団や中学部のみんながいつも相談にのってくれて、一緒に考えてくれてとても助かった。練習が始まってからも積極的に動いて低学年とかに教えてくれたりしてとてもやりやすかった。

応援合戦だけでなく、リレーやソーランなど他の競技を通して団結力が高まったし、みんなで仲良く楽しく運動会をすることが出来て本当によかった。チアをやることに文句とかもあつたと思うけど、それでも最後まで一緒にやってくれてすごい感謝してる。ありがとう。



## 欧州隣人の日のイベントに参加

5月26日（火）に17区社会福祉センターで行われた欧州隣人日のイベントに中学生が参加してきました。会場では、ステージ狭しと威勢よくプラハソーランを披露し、出演者一人一人が満足した踊りとなりました。来場していらしていたチェコの方々にも中学生の勇ましさを伝えることができました。また、会場ではPTAの方々による書道や浴衣の着付け体験などもあり、来場していた多くの方々に日本を身近に感じてもらえました。



